

2023年度 第1回幹事会 議事録

【日時】 2023年 10月 12日(木)

【場所】 Alice aqua garden 田町

【参加者】16名(敬称略)

牛場、長谷川、池田、真壁、松村、伊藤、齋藤、岩田、俵、古川、原、青木、腰高、杉浦、荒木、山田

【報告事項】

1. 現役報告 連盟戦、就職活動ほか(青木)
 - ・春の連盟戦は準優勝
 - ・8/5に4年ぶりに楽籠大会を開催、のべ29人のOB、20人の現役参加
 - ・8月末には山中湖で合宿実施
 - ・秋の連盟戦は浜町の体育館が使えず。(予約幅が4h→3hとなり、2試合実施が困難)各チームの練習する体育館で実施することに。
→日程は追って一斉メールで連絡
 - ・2024卒業生の就活先:JT、三井住友銀行、他はコンサル3名

2. SOの件(真壁)
 - ・コロナも明けて活動も本格化
 - ・若手OBもボランティアで参加。一度でも良いから是非参加して欲しい
 - ・コンサートも実施
 - ・来年は創立30周年で様々なイベントを予定。楽籠ボランティアも是非お願い

3. ANWの件(齋藤)
 - ・11/18 関西@西宮、4年ぶりに甲信越、10/28 東海@岡崎→名古屋、
11/23 九州@博多で実施予定

4. その他
 - ・特になし

【審議事項】

1. 「卒業記念品」について

～前回までの議論を受け、以下の項目について審議

- ・予算
- ・品目
- ・2024年3月卒業生(63期)への品について

<結論>

- ・卒業記念品については、「何かしらの卒業記念品を続ける」ことに決定。
- ・記念品の内容に関する最終決定は、次回幹事会(2024年/1月 or 2月の予算策定時を予定)とする。

<発言録>

(腰高)前回の議論で位置付けは「卒業記念品」に決定した。

(松村)「卒業記念品」に決まった認識はない。物を渡すか否か議論すべきでは？

(腰高)2023年3月の卒業生には「卒業記念関連費」として費用計上済。事務局案としては、今後も「卒業記念関連費」として予算計上としていきたい。

(松村)前回の議論で「なんのために銀杯をもらっているか」を理解している人はほとんどいないことがわかった。習慣で続いてきてしまっている。元々は川先のポケットマネー＝気持ちで始まったもの。原点に立ち返って、卒業の時に品を渡す目的、そもそも渡すべきか否か議論すべき。個人的には卒業時の品は必要ないと思っている。還暦祝いがあった方が良くと思うが。

(腰高)前回の幹事会での総意では「何かしら卒業記念品はあげるべき」という話だった。もしやめるべきという話であれば、2023年卒業生の銀杯も不要だった。

(松村)前回は「お金があるからあげれば良い」という方向で進んでしまった記憶がある。

(杉浦)いきなりやめるのはどうか？という話になり、何かしらはあげるべきとの結論に至ったのでは？

(松村)ものでOB会に誘う発想は良くない。

(長谷川)ものがあっても良い。一つのきっかけになる。

(松村)楽籠を現役時代に全力でやり切った人がOB会に入るべき。

(長谷川)みんながみんな現役時代頑張らなくても、大人になってからOB会に入りたいと思う人がいても良いのではないか。

(池田)自分だけ銀杯をもらえなかった。毎回銀杯の議論をすることは不愉快。もう立ち戻るのはやめて、これからの話をしたい。

(齋藤)銀杯はもう渡さないことになった。もうこの話は終わり。記念品として卒業時に渡すことは意味があると思う。例えばワッペンのように、毎回集まる時に身につけられるようなものは良い。

(杉浦)ご意見が上がった通り、銀杯の議論は終わりにして、今後の楽籠OBを迎え入れるための記

念品をどうすべきかという議論にしたいと思う。

(牛場) 2-3 万円の中途半端なものを渡すくらいならやめた方が良い。銀杯の意味を伝えなければ意味がない。ちゃんと意味を伝えて銀杯を渡さないといけないと思う。

(松村) 前は「もっと銀杯について議論しよう」といって終わったと思っている。予算の話でなしの方向になったが、探せば 3 万円以内で作れる。

(腰高) 予算はあくまできっかけ。銀杯の意味を考え直して決めたこと。正直自分にも銀杯の意味は伝わっていない。伝えたいなら伝えたら良いが、それができるのか？

(杉浦) 今から川先の心意気を伝えるには無理がある。今後も OB 会を続けていくために、何のために品を渡すか、その議論をすべきでは？

(齋藤) 銀杯に拘らず、OB 会入会の記念品を渡すことで良いのでは？

(俵) 24 期は川先を知らない初めての代。川先の話先輩方がしていると、正直疎外感を感じる。自分たちの代の交流が今も続いているのは、楽籠のおかげ。銀杯をどうするかは幹事会の 10 数名で話し合っても結論は出ない。各代の代表が同期の意見を集約して、多数決等で決めるしかないのでは？

(杉浦) 昨年、各代幹事にメールで問いかけたが、若手からはほとんど意見がでなかった。これが現実。

(原) 自分も銀杯は受け取っているが、いわれは聞いていない。これからの楽籠 OB としての楽しい生活を迎え入れてくれるものと捉えている。銀杯を続けるにはそれなりに想いを伝えるための準備が必要。とはいえ何もなしではこれから入る OB が可哀想。何か卒業記念品を渡すことが折衷案だと思う。

(松村) 現役の時はなにかもらえることを知らない。何ももらえないから OB 会に入らない人はいない。継続的に銀杯に変わるものを続けるなら意味があるかもしれないが。

(古川) 自分は銀杯がもらえなかった。後輩はもらっていて自分も欲しいと思った。

(杉浦) 議論は尽きないが、一旦事務局案を提示させて欲しい。

(腰高) 事務局案は卒業記念品を継続したい。議論のきっかけは価格であることは事実。銀杯は当初 15 千円程度から 27 千円程度へ高騰。還暦祝いの 3 万円に近づいている。卒業記念品として渡すのであれば、2 万円以内というのが妥当ではないか？ OB 会の入会金が 1 万円、記念品が 2 万円、還暦祝いが 3 万円というのはキリがよいのではないか。予算は 2 万円とすることを案として提示したい。

(牛場) 銀杯に変わる意味のある価値のあるものはない。中途半端なものをあげるくらいならやめた方が良い。

(杉浦) 銀杯を渡すなら心意気を伝えるのがセットになる。受け手が感じ取れるか？ちゃんと伝えられるのか？

(齋藤) 銀杯もものであることにはかわりない。まずはあげるかどうかを決めた上、何をあげるか決めれば良い。

(長谷川) 心意気を卒業のときにわかる必要があるのか？ 40 歳、60 歳のときにわかってよいの

ではないか。紙も一緒に渡せば、いつか読み直して気づいてくれる人が一人でもいるのではないか？

(俵)今回の議論のスタートが予算だったことを踏まえると、もし予算上可能ならばやめる必要はない。銀杯を続ければよい。

(青木)現役担当の立場として発言する。何もあげないというのは現役に対して失礼。卒業の証として何かしらあげるべきだと思う。自分は川先をよく知っているが、今の学生には「川先が楽籠を作った」ということ以上のことは話していない。OB が「川先の心意気を伝える」と前々から言っているが実際は何もできていない。机上の空論で心意気と言っても意味がない。

(俵)楽籠の文化は脈々と伝わっていると思う。

(腰高)有形で伝わっているのは銀杯だけかもしれないが、文化など根幹のものは伝わっている。それで良いのではないか。

(杉浦)時間の都合もあり、「何かしらの卒業記念品をあげる」を結論として良いか？「品を自分たちで選ぶか？継続して何かをあげるか？」は次の議論としたい。

(腰高)選択肢は「1.心意気の伝承を含めて銀杯を続ける」「2.何かしらの卒業記念品を続ける」「3.何もあげない」の3択。

(杉浦)「2.何かしらの卒業記念品を続ける」で進めて良いか？今後は「1.心意気を含めて銀杯を続ける」の選択肢はなしで進めることとする。

(総意)意義なし

2. 2024年3月OB総会時での「還暦祝い品」(対象26期)について

<結論>

・「還暦祝い品」について、有形物でなく旅行等の無形物に使うことも可とする。

<発言録>

(腰高)還暦祝い品は3万円の予算。この範囲内で同期同じ記念品を送るのがここ数十年の慣例。26期から「ものではなく思い出に使いたい。旅行代にさせて欲しい。」との申し出。26期は全国に散らばっていて在京者が少ないこともあり、集まるきっかけとしたい。

(杉浦)26期としての発言。卒業以来、同期全員揃ったのは1回もない。全員で集まるのは最後になるかもしれない。自分たちの記念品は「一緒に過ごす時間」としたい。

(総意)意義なし

3. 2025年に迎える「楽籠70周年記念行事(仮)」について

～進め方について、幹事会の総意を諮り、必要な動きに入る

<結論>

・「楽籠70周年記念行事(仮)」は実施する。運営は30期代中心に企画する。

<発言録>

(杉浦)60周年は20期代中心に実施した。70周年は30期代中心に企画をすることでよいか？

(総意)意義なし

(杉浦)OB会費の使い方も含めて任せたい。

(松村)基本的に楽籠行事は自己負担完結が原則と考える。ただし、やりたいことをかなえるための補助は使って良いと思う。

(腰高)参考までに60周年は200万円の予算を取ったが、結果は黒字だった。

4. 2024年3月23日(土)予定 OB総会の件

日程意義なし。実施予定。

5. その他

(牛場)名簿に遺族はのせるべきでない。

(腰高)次年度の編集時期に検討。また、会社の電話番号等は無くて良いのでは。

【その他】

特になし